

熊本地震

ペット診察へ医療チーム

県獣医師会 益城町などへ派遣



被災地で活動を始めたVMATの
隊員(左端)ら＝24日、熊本県益城
町 (県獣医師会提供)

熊本地震で被災したペ
ットの健康管理に役立つ
トの健康管理に役立つ
と、県獣医師会は獣医師や
動物看護師で編成する災害
派遣獣医療チーム(VMAT
T)を、被害が大きかった
熊本市や熊本県益城町に派
遣している。

VMATは、県獣医師会
が全国に先駆けて2013

年に発足させた。専門の講
習を受けた獣医師31人と動
物看護師22人が登録。実際
の災害派遣は今回が初めて
で、22日に熊本県獣医師会
から要請を受けた。

現地での活動は24日に始
まり、25日は獣医師2人が
熊本県獣医師会が設置した
相談窓口で犬やネコを診察
したり、飼い主からペット
の健康相談を受けたりし
た。派遣は30日までの予定
で、避難所の巡回なども行
う。

県獣医師会によると、被
災地では、ペットの持ち込
みが禁止された避難所が大

半で、飼い犬を抱えて避難
所の軒先で夜を明かしてい
る避難者もいるという。県
獣医師会は「周囲に遠慮し
てストレスを感じている飼
い主の心のケアにも取り組
みたい」としている。

一方、県は25日、熊本県
菊陽町と大津町に派遣して
いる県健康管理支援チーム
に、久留米市が26日から、
大牟田市が5月16日から新
たに加わると発表した。

被災。ペット診察 医療チーム派遣

県獣医師会

熊本地震を受け、福岡県獣医師会（福岡市）は25日、県内の獣医師でつくる医療チームを熊本県に派遣したと発表した。地震後の避難生活が長引き、体調を崩しているペットなどを診察する。

24日に第1弾として獣医師5人を派遣。熊本市役所に置かれた相談窓口や熊本県内の避難所をまわって診察し、飼い主の相談に乗っ

た。30日まで福岡から順に獣医師を送り、交代勤務で1週間対応する。

災害対応で福岡県獣医師会が獣医師チームを派遣するのは今回が初めて。熊本県内の動物病院が被災し、十分な治療や診察ができなくなったため、熊本県獣医師会が派遣要請した。

福岡県獣医師会は2012年から、災害時の対応を学ぶ講習会を開くなど、災害派遣の獣医師チームを独自に養成してきた。現在、獣医師31人、動物看護師22人がチームに登録している。

（土屋亮）